

まきびと

2018年 社会福祉法人
夏季号 牧人會

961-8061 福島県西白河郡西郷村
小田倉字上上野原 158 番地 1

T E L 0248-25-2046
F A X 0248-25-3776
振替口座 02160 - 6-244

社会福祉充実計画を継続して、求められる多様な支援活動の具体化へ



4月に開園した栄光まきびと園 幼児グループ



9月開設のまきびとホームあだたら「杉田1番館・同2番館」



高齢化も課題、家族研修会 はなわ育成園



夏の日、みんなでそろって食事 山形育成園

キリスト教会と地域社会との連携を現実化し、さらに強化推進する 2018年度事業活動をご支援ください。 理事長 山下勝弘

我が国では、2017年度から社会福祉法が改正施行され、社会福祉法人の組織運営の強化と、充実した福祉サービスの提供、さらに地域社会貢献が責務として求められています。

当会でもこれに対応する中長期事業計画を策定し、昨年度から活動を開始しています。当会は現在、主に知的障がいのある幼児から高齢者までを対象に15種別65事業の支援活動を、福島県、山形県、宮城県3県内の11市町村で実施しています。以下の今年度の現状と、事業展開の内容をご理解くだ

さってご支援をお願いいたします。

■ 2018年度の現状

福祉施設サービス領域 児童領域
保育事業を含む乳幼児を対象にした児童発達支援センター及び発達支援事業所8施設、障がい児入所施設2施設、その他短期入所事業、日中一時支援事業の運営。利用児童定員190名。**成人領域** 障がい者支援施設3施設、就労支援・生活介護施設4施設、グループホーム6ヶ所を運営。利用者定員380名。**地域福祉サービス領域** 地域相談支援事業を福島県内4地域、山

形県内2地域。その他保育所等訪問事業を2地域で実施。また、福島県あだち地域相談センターは基幹相談センターとして機能し、年間相談支援件数は当会全体で13,500件になります。

■ 2018年度事業展開

1. 社会福祉充実計画実施第2年度事業の実施へ

地域貢献を重視した今後5年間の事業計画を作成し、今年度は二本松市内にグループホーム(定員12名)を整備し9月に開設、利用が開始されます。

2. キリスト教会及び関係団体との共同事業の推進

2018年4月から栄光まきびと園を開設しました。今後、さらに共同活動を強化推進します。

社会福祉充実計画推進 グループホーム開設へ

2017年度からの社会福祉法改正施行の完全実施に伴って、当会でも5年間の年次計画で実施する社会福祉充実計画を策定しました。

昨年度から計画を実施した結果、2018年4月から宮城県石巻市に児童発達支援事業施設「栄光まきびと園」を開設し、今年度事業で福島県二本松市内に「まきびとホームあだたら」(杉田1番館・同2番館)(利用定員各女性6名)を開設、支援事業を開始します。

今年度も、地域社会の福祉的需要に応える活動を展開し、当会の社会福祉充実計画を確実に実施し推進しています。

それぞれに、さまざまな支援 豊かに育ちあう夏の生活

猛暑を実感する夏を迎え、当会が設置運営する幼児から70歳を超える利用者を対象にする福祉施設・事業所では、それぞれの利用者へ、さまざまな福祉サービスを提供し豊かな夏の生活形成を支援しています。

学校が夏季休暇中の児童入所施設では、午前中に学習や、手芸品の製作、自由な読書など、それぞれの児童が個別にさまざまな活動の時間を過ごしています。職員も共にこの活動に参加して、児童の夏の生活を豊かに育てる支援をしています。



それぞれに、さまざまな活動。白河めぐみ学園。

牧人会後援会にご参加ください 感謝と報告 後援会 会長 定家 修身

牧人会後援会は1971(昭和46)年に社会福祉法人牧人会設立とともに、正式に活動を開始し、社会福祉法人牧人会の強力な協力支援団体として、現在にいたっています。

その主要な支援活動内容は、社会福祉法人牧会会に連帯し、理解し、協力するとともに、これを財政的に支援することです。



豊かな交流の喜びと楽しさ。寒河江共育育成園。

地域社会と豊かな交流と共生 充実したふるさとでの街の日々の生活

当会の運営する福祉施設では、地域社会と密接な交流を重視して、利用者は地域社会で生活する住民として、地域社会に参加し住民と日常的に共に生活する支援に努力しています。この活動の一環として福祉施設について住民理解を深める活動が長く継続されてきました。

寒河江共育育成園では6月2日にガーデンパーティを開催、250名を超える参加者で盛会でした。9月には山形育成園、はなわ育成園では10月にそれぞれ開催され、利用者がふるさとでの街で住民とともに生活する可能性を支援しています。

今年度も老朽化対策を推進

■ 建物・設備の改修を年次計画で実施 ■

当会は社会福祉充実計画と関連して、関係福祉施設の経年経過による建物及び設備の老朽化に対応した建物補修と設備の更新事業を年次計画で実施しています。

今年度は、はなわ育成園屋根補修工事、障害者用トイレ設置工事、あだたら育成園短期入所棟の改修工事、山形育成園ボイラー更新及び浴室整備工事を予定し準備を進めています。

これらはすべて利用者が生活している状況下で実施する関係上、提供する福祉サービスに影響がない条件確保を前提に、具体的な改修計画を準備しています。

2017年度に牧人会後援会へ納入された会員の会費総額は、4,799,837円で、これは個人会員と団体会員をあわせて522会員のみなさまが協力してくださった結果です。この納入された会費から、3,500,000円を2017年度の助成金として、社会福祉法人牧人会へ捧げました。

2017年度は特に、社会福祉法人牧会会が実施した関係福祉施設の老朽建物補修、設備更新整備、研修事業、新規事業調査活動を中心に支援をしました。

2018年度も、引き続きみなさまのご理解、ご加藤と共に、後援会活動へのご参加とご支援を、心からお願いいたします。(協賛広告)

当会の2017年度財務報告 みなさまのご支援を感謝いたします

当会の2017年度財務報告は、下記の通りです。なお、詳細は当会のホーム・ページ等を参照してください。またさらに必要な場合は、本部事務局宛にお問合わせください。

社会福祉法人牧人会 財務報告

当会の2017年度(平成29年度)の財務状況を報告いたします。

貸借対照表

2018年3月31日現在

	単位:千円
資産の部	3,242,739
流動資産	835,137
固定資産	2,407,602
負債の部	255,068
流動負債	119,211
固定負債	135,857
純資産の部	2,987,671
基本金	105,605
国庫補助金等特別積立金	606,860
その他の積立金	1,198,085
次期繰越活動増減差額	1,077,121
(うち当期活動増減差額)	58,440
負債及び純財産の合計	3,242,739

好評授産製品

キリスト教会用品と木製玩具、積木各種

■ ご利用ください。お待ちしております ■

当会の関係福祉施設のユニークな製作品に、木工製品があります。これらの製品は、仙台市にある日本キリスト教団東北教区センター「エマオ」でも常設展示



されています。

木工製品は、キリスト教会用家具、用品、高品質の各種積木、木製玩具その他木馬、幼児用机・椅子、福祉施設用家具などが中心です。当会のホーム・ページもご参照くださってぜひご用命、ご利用ください。写真上 高品質で、好評な製品「保育園・幼稚園用テーブル・椅子」、長期のベスト・セラーの各種「木製積木」もご利用ください。

白河めぐみ学園 Tel 0248-25-2046	白河こひつじ学園 Tel 0248-25-2055	あだたら育成園 Tel 0243-48-3111	須賀川共育育成園 Tel 0248-76-4155	あだち共育育成園 Tel 0243-48-3113	はなわ育成園 Tel 0247-43-3891	山形ひかり学園 Tel 023-672-2377	寒河江共育育成園 Tel 0237-86-7625
山形育成園 Tel 023-673-2575	すぎのこ園 Tel 0247-43-4391	児童発達支援センターまきびと Tel 0248-25-0869	泉崎村障がい者支援センター Tel 0248-53-3618	発達支援センターあだたら Tel 0243-22-2800	相談支援センターこひつじ Tel 0248-25-2055	まきびとの家 Tel 0248-25-2046	

木工製品のご相談は 須賀川共育育成園 電話 0248-76-4155 あだち共育育成園 電話 0243-48-3113 寒河江共育育成園 電話 0237-86-7625